

2024年2月期 通期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2024年4月17日



連結業績の概要

2023年3月1日～2024年2月29日



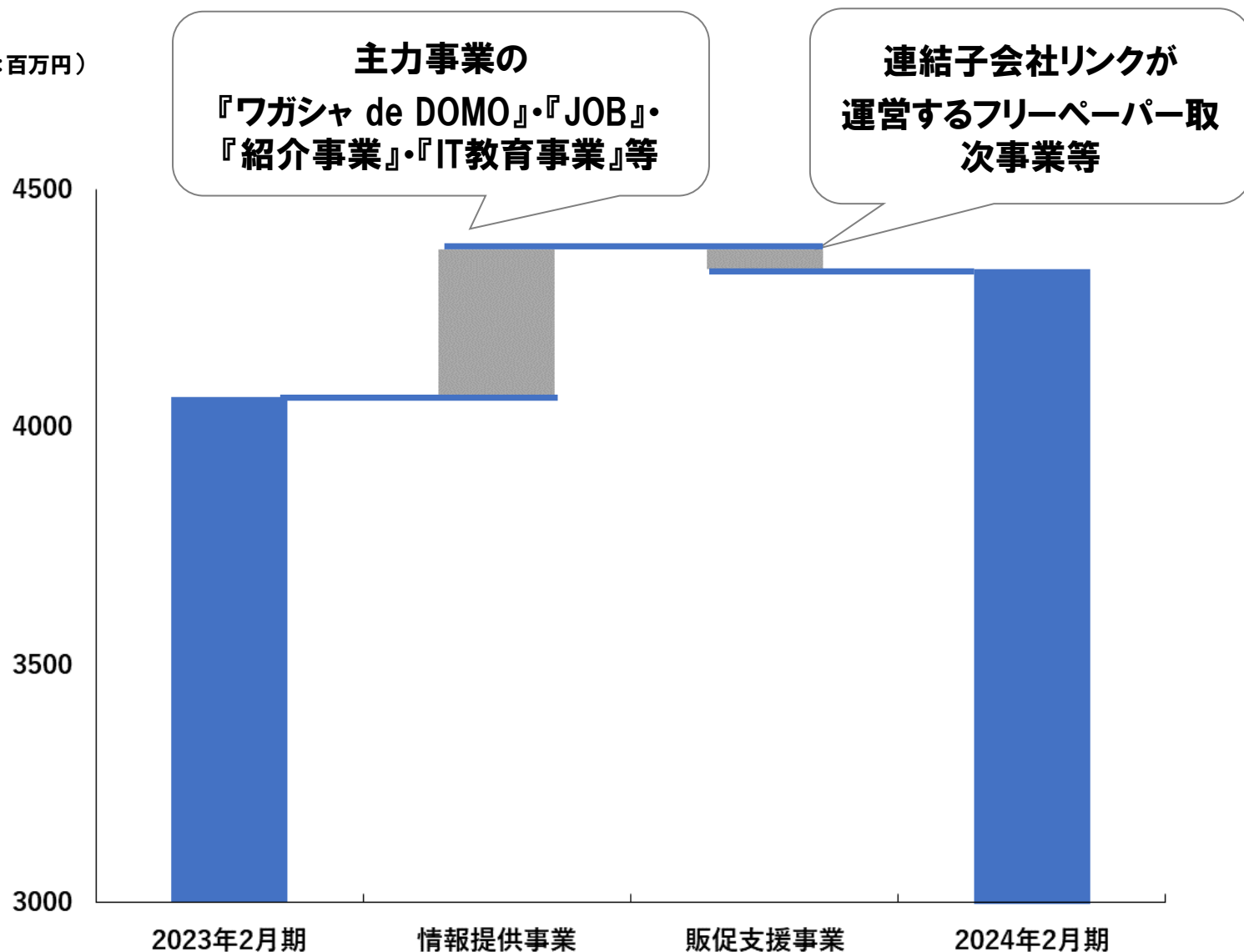
通期の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2024年2月期		2023年2月		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		4,318	100.0	4,044	100.0	274	6.8
売上原価		1,303	30.2	1,192	29.5	110	9.3
	印刷費	279	6.5	258	6.4	20	7.8
	労務費	116	2.7	95	2.4	21	22.1
	その他売上原価	907	21.0	838	20.7	69	8.3
売上総利益		3,014	69.8	2,851	70.5	163	5.7
販管費		2,907	67.3	2,796	69.2	110	4.0
	人件費	1,716	39.7	1,661	41.1	54	3.3
	広告・販促費	569	13.2	516	12.8	52	10.2
	流通費	71	1.6	80	2.0	△9	△11.4
	その他販管費	550	12.8	538	13.3	12	2.3
営業利益		107	2.5	54	1.4	52	95.9
経常利益		46	1.1	67	1.7	△21	△31.6
税金等調整前 当期純利益または当期純損失		△3	△0.1	40	1.0	△44	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失		△32	△0.8	44	1.1	△77	—
EPS		¥△1.31		¥1.70			



セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)

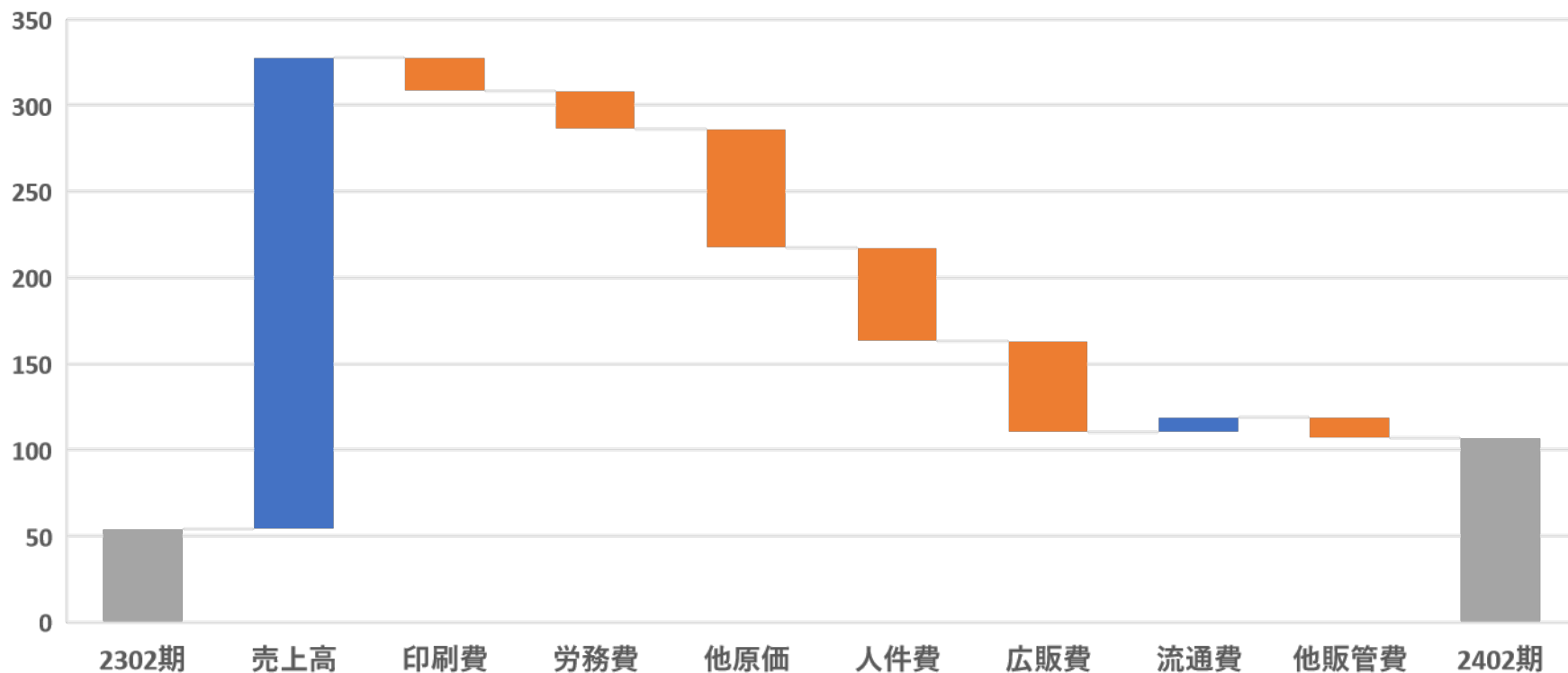


営業利益の増減要因

(単位:百万円)

営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2024年2月末		2023年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	2,672	67.1	3,562	74.1	△889	△25.0
	固定資産	1,311	32.9	1,247	25.9	64	5.2
	資産合計	3,984	100.0	4,809	100.0	△825	△17.2
	流動負債	624	15.7	588	12.2	35	6.1
	固定負債	29	0.7	7	0.2	21	267.4
	負債合計	653	16.4	596	12.4	56	9.5
	資本金	455	11.4	455	9.5	—	—
	資本剰余金	538	13.5	538	11.2	—	—
	利益剰余金	4,017	100.8	4,252	88.4	△234	△5.5
	自己株式	△1,684	△42.3	△1,034	△21.5	△650	—
	株主資本	3,330	83.6	4,212	87.6	△884	△21.0
	その他包括利益累計額	3	0.1	0	0.0	2	579.1
	純資産	3,330	83.6	4,212	87.6	△882	△20.9
	負債・純資産合計	3,984	100.0	4,809	100.0	△825	△17.2
	BPS	¥182.10		¥163.96			

当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2024年2月期	2023年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	168	23	144
投資活動CF	△163	△206	42
財務活動CF	△919	△185	△734
換算差額	4	6	△1
増減額	△910	△362	△548
期首残高	3,034	3,396	
期末残高	2,123	3,034	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、減価償却費が36百万円、株式給付引当金の増加額が25百万円、投資有価証券評価損が50百万円となった一方で、税金等調整前当期純損失が3百万円、売上債権及び契約資産の増加額が19百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が93百万円、投資有価証券の取得による支出が50百万円、敷金及び保証金の差入による支出が19百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

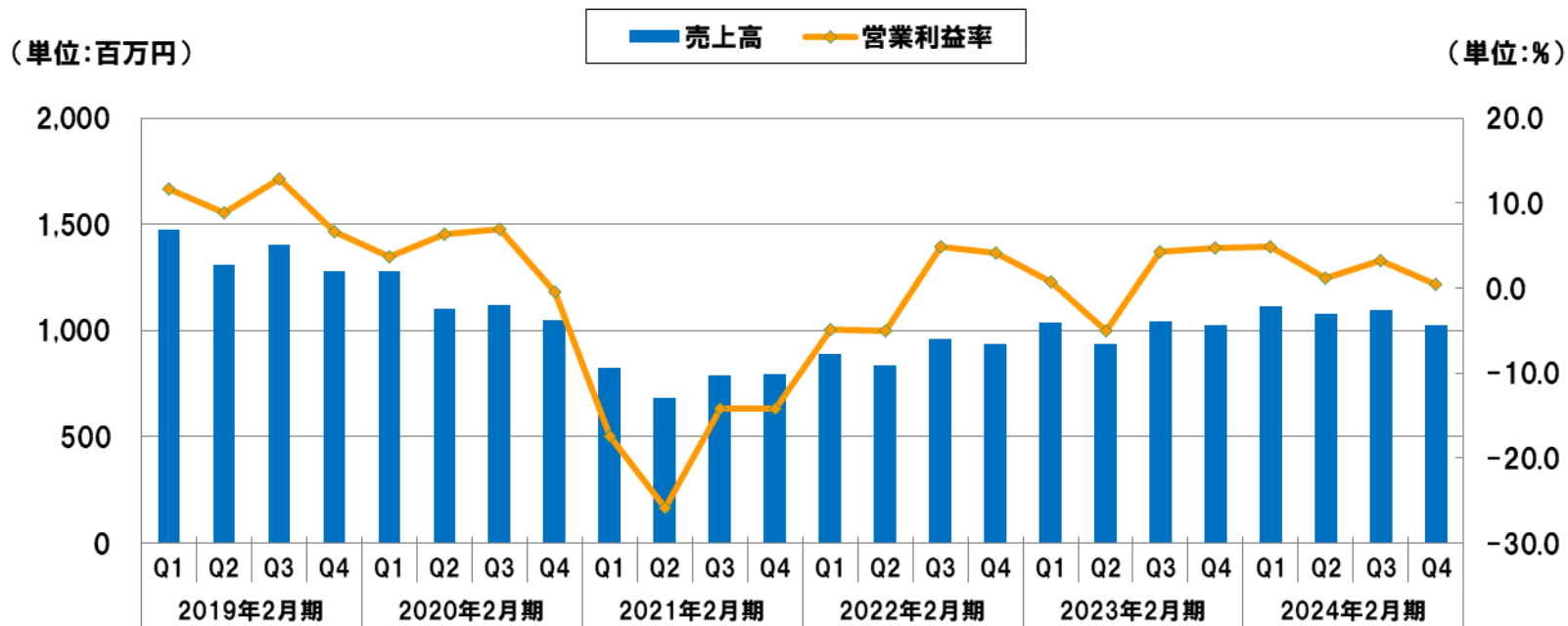
- ◆ 主に、自己株式の取得による支出が836百万円、配当金の支払額が78百万円等となったためです。

当期の総括

2023年3月1日～2024年2月29日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。2021年2月期にはコロナ感染症拡大の影響により営業損失を計上。コロナ感染症に伴う行動制限解除に伴い、経済活動が正常化へと進み、徐々に売上が回復し、コスト圧縮効果と合わせ営業黒字を継続して計上することとなりました。
- ◆ 当社の今後の対策といたしましては、継続して『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力することや当社の成長に資すると判断したコストにおいては積極的に投資していきます。また多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、当社の再成長に向けた事業運営を着実に推進してまいります。



事業環境

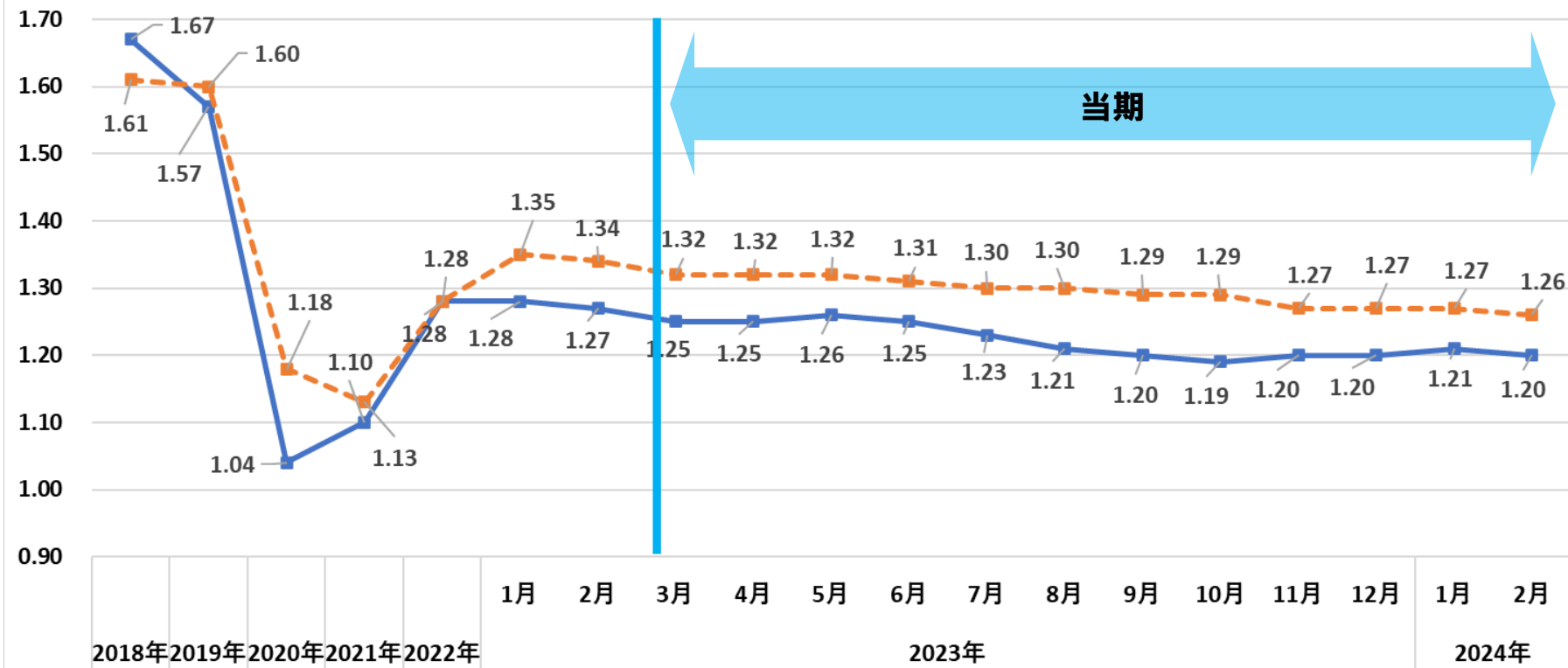
新型コロナウイルス感染症の行動制限が2023年5月に解除され
経済活動が正常化したものの、雇用環境は横ばいの状態が続く

有効求人倍率推移

(単位:倍)

■ 静岡県 - - 全国

出所：静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



重点施策

成長に向けた投資の実施

- 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施
【コスト投資】

	2024年2月期	2023年2月期	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	コスト投資(百万円)
人件費	1,716	1,661	54
広告販促費	569	516	52
計	2,285	2,178	107

【新規事業投資】

投資案件	金額 (百万円)
人材教育関連	109
人材マッチング関連	50
投資計	159

【固定資産投資】

投資案件	金額 (百万円)
事業所移転等に伴う設備投資	10
Web関連投資	35
投資計	46



重点施策

「ワガシャ de DOMO」の拡販による売上増
連結売上 6.8%増 を牽引

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

- 利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

(内部消去取引前)

売上高 17.8億円 (前期比 17.5%増)
当社グループ売上高構成比 41%に拡大



連結業績予想

2024年3月1日～2025年2月28日



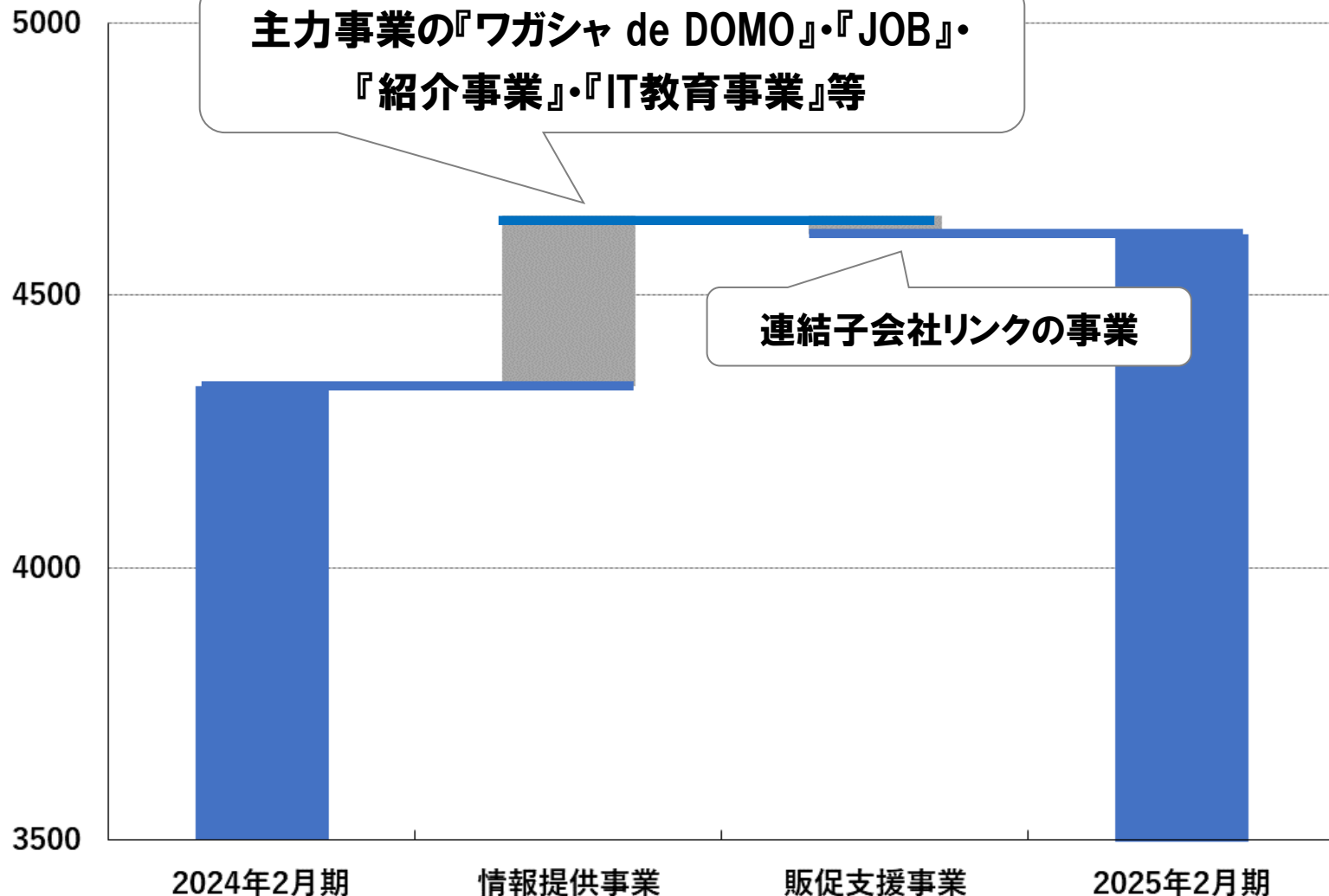
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2025年2月期		2024年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,596	100.0	4,318	100.0	278	6.5
売上原価	1,400	30.5	1,303	30.2	96	74
印刷費	233	5.1	279	6.5	△46	△16.5
労務費	129	2.8	116	2.7	13	11.3
その他売上原価	1,037	22.6	907	21.0	129	14.3
売上総利益	3,196	69.5	3,014	69.8	182	6.0
販管費	3,046	66.3	2,907	67.3	139	4.8
人件費	1,739	37.8	1,716	39.7	23	1.4
広告・販促費	721	15.7	569	13.2	152	26.7
流通費	22	0.5	71	1.6	△48	△68.4
その他販管費	563	12.3	550	12.8	12	2.3
営業利益	150	3.3	107	2.5	42	39.5
経常利益	148	3.2	46	1.1	102	219.8
税金等調整前 当期純利益または当期純損失	148	3.2	△3	△0.1	152	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失	66	1.4	△32	△0.8	98	—
EPS	¥3.61		¥△1.31			



セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



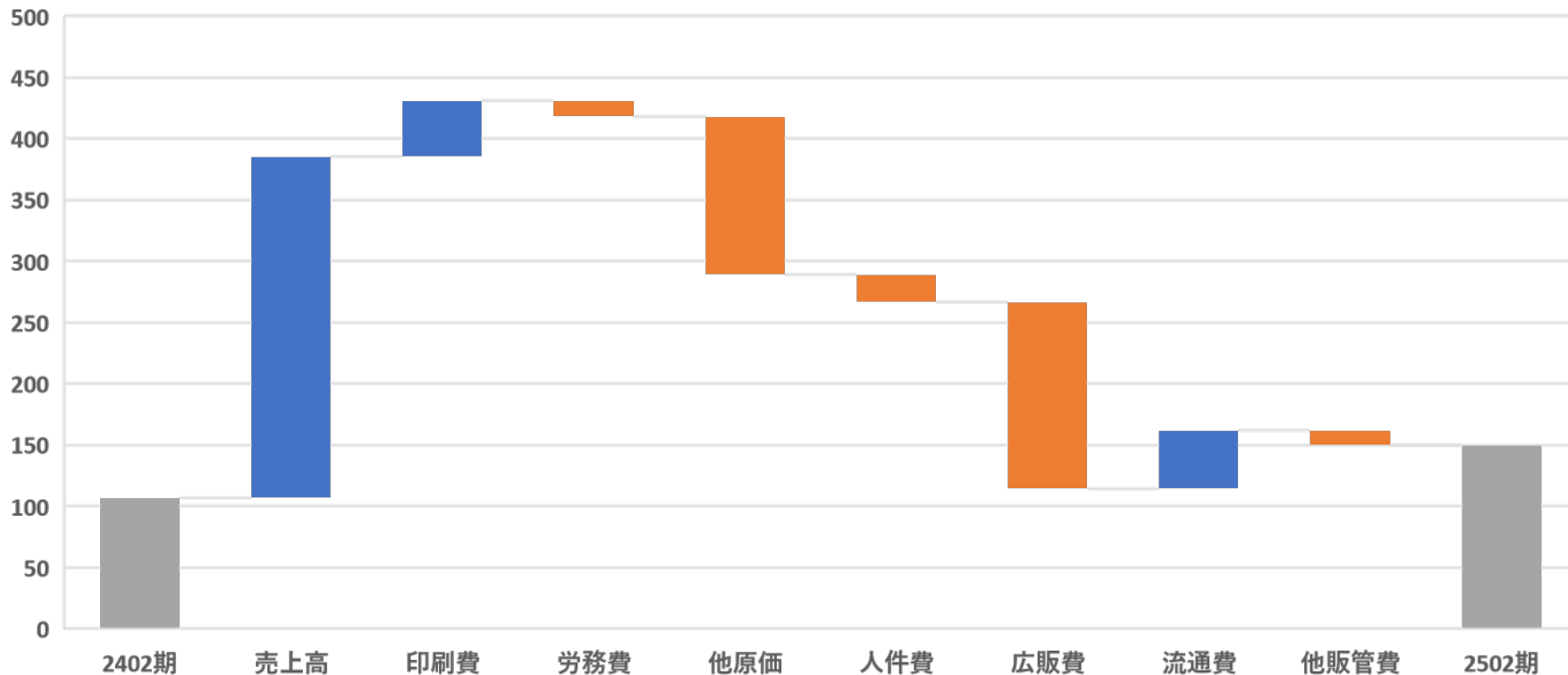
売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費投入も黒字継続

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



重点施策

成長に向けた投資の継続

➤ 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)の継続

【コスト投資】

	2025年2月期	2024年2月期	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	コスト投資(百万円)
人件費	1,739	1,716	23
広告販促費	721	569	152
減価償却費	36	36	△0
計	2,497	2,322	175

【固定資産投資】※減価償却対象試算

投資案件	金額 (百万円)
設備関連投資	4
Web関連投資	13
投資計	17

【新規事業投資】

投資案件	金額 (百万円)
人材教育関連	130
投資計	130



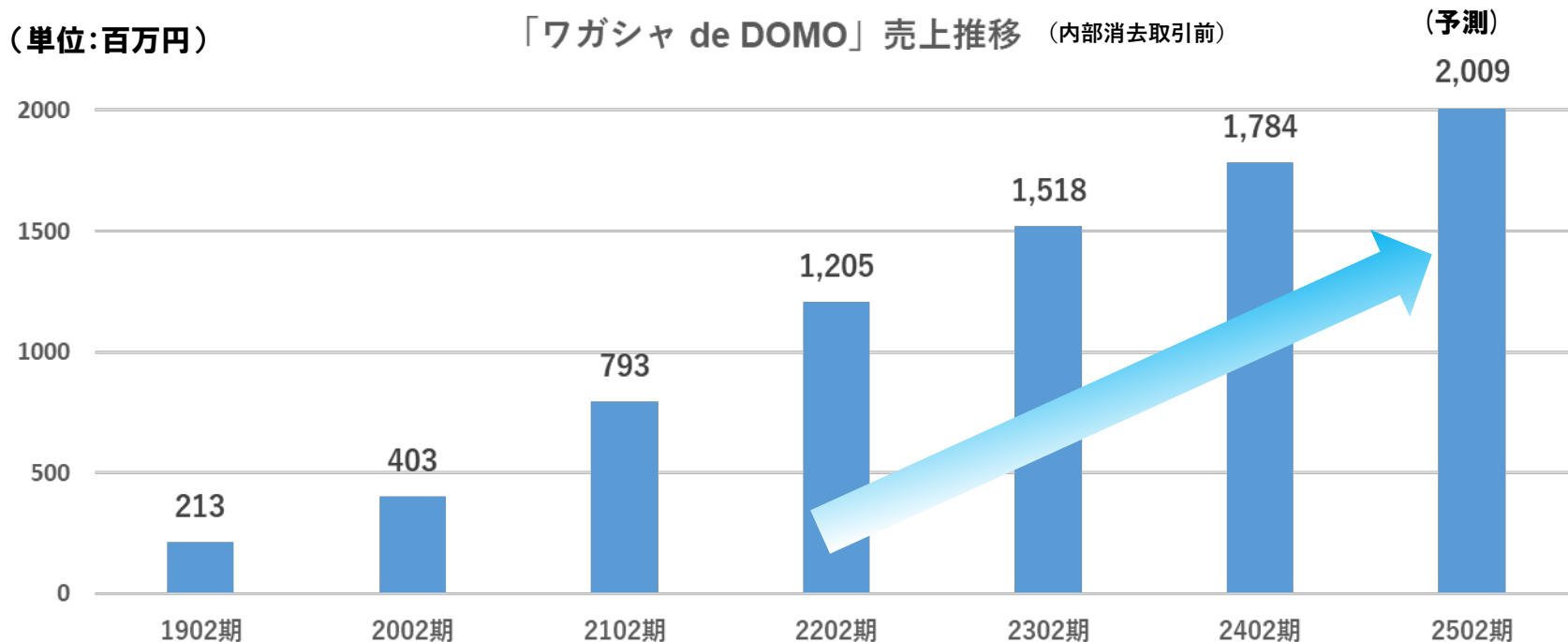
重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販施策の継続

- 利便性の追求によるオプションサービスの開発・連携による差別化を継続
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

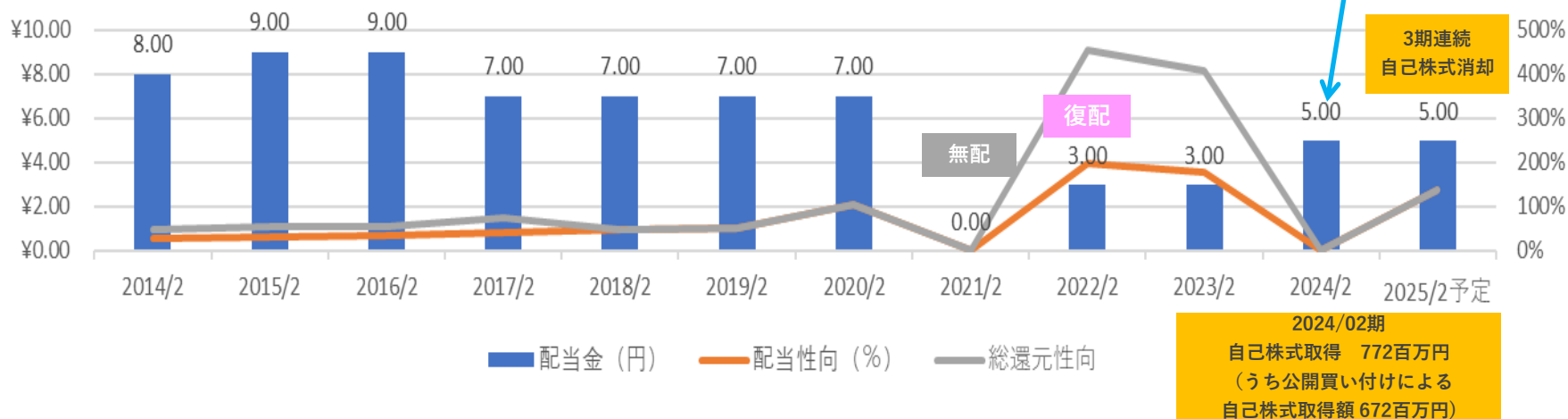


株主還元

当期及び次期は1株あたり5円の配当とさせていただきます。

また株主還元の一環として2024年4月25日に自己株式70万株の消却を行います。

配当金・配当性向・総還元性向の推移



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2024年2月期は市場での自己株式の取得および、公開買い付けによる自己株式の取得を行い、合わせて消却も行って参りました。また、当社創立50周年を記念し、1株当たり記念配当2円を含めた年間配当金5円の期末配当を予定しております。次期につきましても期末配当は5円を予定しております。(自己株式消却を2024年4月25日に70万株行う予定です。)



自己株式の消却について

➤ 自己株式の消却を行う理由

- ◆ 株主の皆様への利益還元を図るため、また資本効率の向上を図るため

➤ 消却の内容

- ◆ 消却する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 消却する株式の総数 700,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 2.26%)
- ◆ 消却日 2024年4月25日(木)

➤ 参考(消却後の自己株式の保有)

- ◆ 消却後の発行済株式総数 30,137,249株
- ◆ 消却後の自己株式数 11,847,767株

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部
管理部 経営企画課 IR担当
E-mail: ir@atimes.co.jp
HP: <https://www.atimes.co.jp>